



大谷石の魅力を全国のみなさんへお伝えする大谷石研究会の広報誌

旧大谷公会堂「大谷コネクト」完成を記念して

NPO法人大谷石研究会 理事長 佐藤公紀

2023年11月20日に旧大谷公会堂「大谷コネクト」は完成し、オープンしました。大谷街道沿いにある旧大谷公会堂は前面道路の拡幅により移転を余儀なくされ、平和観音の表参道西側に面する市営駐車場敷地内に移築・復元となったのです。

旧大谷公会堂は元来の集会的機能に加えて、大谷の観光案内所を併設した新たな観光周遊拠点施設として蘇りました。
ここで、旧大谷公会堂の歴史とこ

れまでの経過について振り返って見たいと思います。

旧大谷公会堂はフランク・ロイド・ライトによる旧帝国ホテル・ライト館が完成した1923年(大正12年)の6年後の1929年(昭和4年)に、施主・帝国在郷軍人会、設計監督・更田時蔵により誕生しました。この頃、建築デザイン界ではフランク・ロイド・ライトに影響を受けたデザインである「ライト式建築」が流行していました。旧大谷公会堂

にもライトの影響と思われる箇所が見られ、帝国ホテル建設に従事した大谷周辺の石工達も、旧大谷公会堂の建設に参加したのであろうと想像します。その石工の技は今回の移築復元工事で、再び装飾柱の復元にその技を見ることが出来ます。竣工した1929年(昭和4年)4月8日付けの下野新聞に掲載された竣工式の記事によれば、「帝国在郷軍人会城山分会では御大典記念事業として工費6千円を投じ、役場前に名物の大谷石を持つて石造スレート葺きの公会堂を建設。工事竣工したので7日午前11時官民500余名を招待し落成式を挙げる。…閉会后すぐに宴に入り各班寄贈の浪花節その他の余興あり、花火打ち上げ馬鹿囃子などもあり。あいにくの雨にもかかわらず人手多く盛況であった。…」と記されています。旧大谷公会堂は演劇、映画、村議会場などに使用された後、時代を経過する中で、近年ま

で倉庫として使用されてきました。その旧大谷公会堂の文化的価値の見直しと保存活用に情熱をかけて取り組んだのが、当研究会初代理事長の小野口順久さんです。

小野口さんの旗振りで大谷石研究会では、2012年の「未来に響け石の声シンポジウム」及び2013年の第2回「未来に響け石の声シンポジウム」を開催しました。理事長を受け継いだ塩田 潔さんのリードによる2017年の「石の街うづのみやシンポジウム」と、三度に渡るシンポジウム等により文化的建造物の保存活用を訴えてきました。いずれのシンポジウムも、参加者100名を越す盛況な会でした。またシンポジウムの開催に当たっては、故岡田義治氏、故海老原忠夫氏、および故更田邦彦氏の尽力についても忘れることは出来ません。



2023年11月18日に行われた落成式



内部写真

大谷石 未来へシンポジウム
大谷・大谷石・大谷石文化未来へ
日時：2024年1月20日(土) 13:00~18:00
会場：大谷コネクト(市営大谷駐車場内旧大谷公会堂)

1. 大谷石研究会のシンポジウムと懇話会
2. 大谷石研究会のシンポジウムと懇話会
3. 大谷石研究会のシンポジウムと懇話会
4. 大谷石研究会のシンポジウムと懇話会

「大谷石未来へ」写真展
2024年1月20日(土) 13:00~18:00
会場：大谷コネクト(市営大谷駐車場内旧大谷公会堂)

2024年1月20日(土)に大谷コネクト(旧大谷公会堂)で開催するシンポジウム(写真展)の様子がこちらです。是非とも会員の皆様も参加をお願いします。

旧大谷公会堂を構成文化財の一つとした「大谷石文化」は2018年に、念願の日本遺産登録となりました。移築・復元が終了した今回、その締めくくりとして2024年1月20日に、旧大谷公会堂の文化的価値についての再認識とまちづくりや観光にどのようにつながっていくかを語り合う「大谷石未来へ」シンポジウムを開催する予定です。合わせて、「大谷石未来へ」の写真パネル展も開催します。是非とも会員の皆様の参加をお願いします。